



絆

学校便り No.10
令和6年1月31日
奄美市立住用中学校

『学び』で可能性の扉を開く住用中

さらなる成長と飛躍の一年にするために

校長 原 憲正

2024年、令和6年が始まりました。いつもなら『心穏やかに新年を迎えられたことだと思います』と続けるところですが、新年早々に起きた大規模な自然災害や重大な航空事故の事を思うと胸が痛みます。まずは地震や事故によって亡くなられた方々の御冥福と、被災地の一日も早い復興を皆さんとともに祈りたいと思います。

さて、本校は1月9日に3学期の始業式を執行了いました。式辞では、箱根駅伝の第100回大会で総合優勝を果たした青山学院大学の陸上競技部のことを紹介し、選手一人一人、そしてチーム全体が成長するために取り組んだことを話しました。

「1976年を最後に箱根駅伝に出場することがなくゆる～い運動部に成り下がっていた陸上部長距離部門が、どうしてたった5年間で箱根駅伝に出場するチームにまで成長できたのか。それは“規則正しい生活を送ること”を徹底したから。さらに“時を守り 場を清め 礼を正す”という言葉を実践したことも挙げられます。

『時を守り』は、時刻や時間、提出期限などを守ること。

『場を清め』は、掃除をし、身の回りの整理整頓を行って環境を整えること。

『礼を正す』は、挨拶や返事などをしっかり行い服装や姿勢を正して礼儀正しくふるまうこと。

この“時を守り 場を清め 礼を正す”という人として『あたり前のことをあたり前のようにできるようになることが人間として成長する最も大切なこと』であり、それを実際の姿として見せてくれたのが青山学院大学の駅伝チームです。これからの時代を自分らしく生き抜くためにも、ぜひ青山学院大学の駅伝チームの取り組みを参考にし、自分自身を成長させていくことを皆さんにお勧めします。」と始業式場で生徒の皆さんにお話ししました。

生徒一人一人が、そして住用中学校が今年一年間、さらなる成長を遂げるためには、今こそ規則正しい生活を送り、“時を守り 場を清め 礼を正す”ことを実践していく必要があると感じます。

今年は今まで準備してきたことが形になるといわれる辰年。辰年にふさわしく、生徒も学校も上昇し勢いを増しながら成長する一年にしたいものです。

願いを込めて席書会



【席書会の目的を校長が説明】 【心を静めて書に臨みます】

お正月は和の心に触れるまたとない機会です。そこで、新年の決意や抱負、今年目標を表す一文字を、1月13日(土)に行われた席書会で表現しました。

無言で筆を動かす生徒の姿に今年に賭ける決意を感じることができました。

書き上げた文字は「新」「幸」「楽」「努」など。これからの一年でこの字を実現できるような取り組みを職員も支えていきたいと思っています。

一歩ずつ未来へ



【真剣に聞いています】

【近未来の教室】

1月17日、技術科の新しい単元が始まりました。新しい単元はプログラミング学習です。これまでと違い、奄美市の取組として株式会社ライフズテックの田口峻平様がリモートで講師をつとめ授業を進めていく形になります。

はじめに講師の紹介とこれからの私たちの生活にコンピューターがどのように関わっているかいくつかの動画を元に説明がありました。近未来の風景がもうすぐ目前に来ている様子に生徒たちも湧き上がる興味を隠しきれない様子でした。こうした近未来の学びや仕事を支える技術としてプログラミングが紹介され、早速「web ページを作ろう」というテーマで学習が始まりました。生徒たちは一生懸命タブレットに向かって学習し時間を忘れて打ち込んでいました。翌日の休み時間に課題に取り組んでいる姿も見られました。

自分たちの暮らしとの関わりで興味を持ったこの学習はあと7回予定されています。大いに楽しんでほしいと思います。

おいしい私のお弁当



【お弁当を解説します】



【みんなで実食！】

1月22日、ついにお弁当の日本番を迎えました。

これまで3回の授業で入念な計画を立てて臨んだお弁当作り、いつもより早起きして、御家族の協力ももらいながら自分でつくったお弁当。中には前日から仕込んだ力作もありました。生徒は少し恥ずかしげにあるいは誇らしげに自分のお弁当を紹介しました。

想像以上にみんな上手にできており、栄養教諭の松野下先生からもたくさんのお褒めの言葉をいただきました。自分の暮らしを自分でデザインする自由さと自分ができることがまた一つ増えた成長の喜びを大いに味わったことと思います。

大事に味わいながら食事をした後にそれぞれ振り返る中で「美味しくできて良かった」「料理を作るのが楽しかった」「食事を用意してくれる人に感謝したい」といった感想が見られました。

ぜひ、ご家庭でも話題にさせていただき、家でも生徒が作る機会を持っていただきたいと思います。

おいしい給食ありがとう



【ビデオ放映の様子】



【贈呈式の様子】

お弁当の日を実施した1月22日(月)から26日(金)は「鹿児島をまるごと味わう学校給食週間」でもあります。

給食週間に向けて本校では、献立を考えてくださっている栄養教諭の先生と給食センターの方々へお礼の言葉をつづった「感謝の言葉カレンダー」の作成を行いました。また、ロビーに設置された大型テレビで給食が準備される様子を視聴したり、給食や食にまつわる放送を給食時間に行ったりしました。そして作成したカレンダーの贈呈を26日(金)に行いました。

給食終了後にコンテナ回収に来られた配送員さんに対して、生徒会保体部の濱本紫音さん・新納華穂さんが代表してお礼の言葉を述べ、お礼状をかねた感謝の言葉カレンダーを贈呈しました。

毎日のごちそうさまの声のかわりに空っぽの食缶をたくさん届けられるようにこれからもよく食べてよく学び、生徒たちの活躍を支える給食を作る喜びを感じてもらえるようにしてほしいと思います。

二十歳の再会

1月3日(水)奄美市で二十歳のつどいが行われ、今年二十歳になる卒業生の7名が母校の住用中学校を訪れました。

中学校ではタイムカプセルを開け、中身を確認し、思い出を語ったり記念撮影をしたり懐かしい時間を過ごさせていました。

わざわざ住用中を訪れるのはここが自分の原点の一つであると感じるからでしょう。住用中の卒業生であるという誇りを胸に、これからは頑張ってくださいることと思います。

今在籍する中学生も、自分の成長を振り返ってよかったと思える有意義な時間を過ごしてほしいと思います。

多大なるご厚意に感謝！

2学期終業式を執り行った12月22日(金)に、開校して間もない住用中に10年間お勤めになり、朝日中第15代校長でいらっしゃった山元真琴先生が御来校されました。

来校された際「住用中の卒業生で、現在は東京の株式会社五常光産代表取締役である屋島範光さんより預かってきました。」と、寄付金5万円を頂戴いたしました。

住用中の先輩から多大なるご厚意をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。

頂きましたご厚意は、今後生徒のために使わせていただきます。

本当にありがとうございました。

2月、3月の主な行事

- 2/7 (水) 住用中入学説明会 (15:00~, 住用中図書室)
- 2/10 (土) 校内ビブリオバトル (10:45~, 住用中図書館)
- 2/11 (日) 建国記念の日
- 2/12 (月) 振替休日
- 2/18 (日) 家庭の日・市民清掃の日
- 2/22 (木) 学級PTA PTA役員会
- 2/23 (金) 天皇誕生日
- 2/28 (水) 学年末テスト (~3/1日まで) 家庭教育学級(会場: 住用小)
- 3/25 (月) 修了式 離任式

